

BGA ハンダクリーナー

Solder Handy Cleaner

Model SHC-770

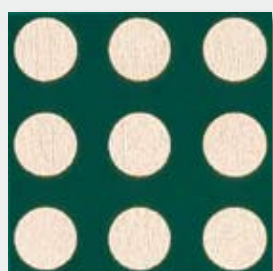
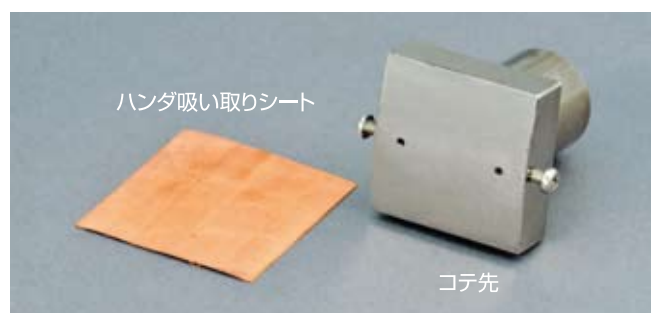
特許出願中



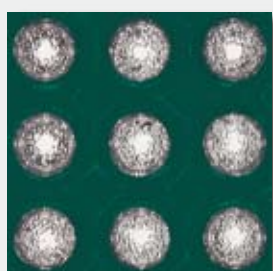
残留半田を
20~30秒
で除去

BGAデバイス交換で最も重要な「残留半田除去」を「確実に! 素早く! 仕上がりを綺麗に」実現しました。

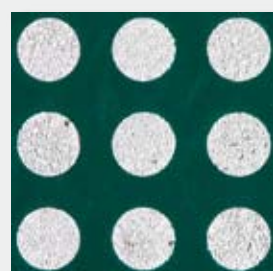
- 新開発したコテと専用ハンダ吸取りシートを使用して、基板面の残留半田をわずか20~30秒で除去します。
- 湾曲したコテ先を専用ハンダ吸い取りシートに乗せて押さえ付けながら円弧運動させることにより残留ハンダが吸収除去されます。
- 残留ハンダ除去後、グリップにあるボタンを押すことにより、ハンダ吸い取りシートは吸引され持ち上げられるので、パッドの剥離や基板のダメージが少ないです。
- コテ先、ハンダ吸い取りシートはBGA各サイズに対応します。



未使用基板



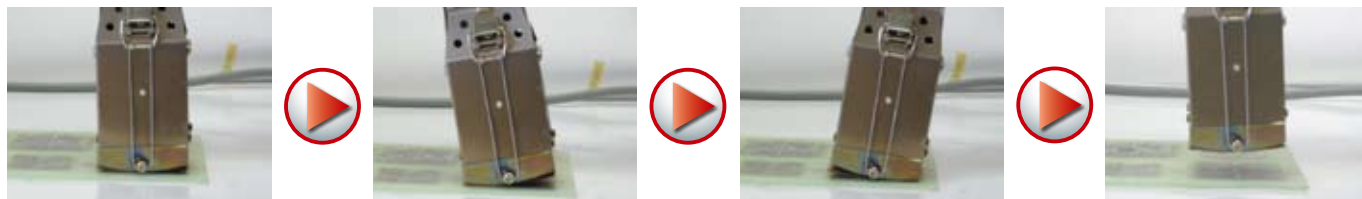
ハンダ残留状態



ハンダ除去後



マイクロコム株式会社
MICRO COM CO.,LTD.



作業手順

1. 本体、デジタルスイッチでコテ温度を設定。
2. 除去したいBGA/パッド表面に専用吸取りシートを乗せます。
3. コテ温度が設定した温度に達したら、グリップを持ちコテ先と専用吸取りシートの中心を合わせながら押し付けます。この時、コテ底面が基板に対して垂直になるように置きます。
4. コテ先をウィックに押しつけたら2～3秒後、ハンダが溶融したのを見計らってコテ底面が基板面に沿って円弧運動するようにグリップを前後に運動させます。
5. 円弧運動は一往復として最初の中心位置に戻します。グリップにあるバキューム用のボタンを押しながらコテを持ち上げると専用吸取りシートは負圧吸着され同時に持ち上がります。
6. 1回の作業時間は、20～30秒程度で残留ハンダはキレイに除去されます。

装置仕様

本 体	MODEL:SHC-770
コテ温度設定	デジタルスイッチ3桁 0～499℃
コテ温度表示	7セグメントLED表示、3桁
温度制御方式	ON/OFF制御
消費電力	AC100V 50/60Hz 5A
供給エア	0.5～0.8MPa 適用エアチューブ 外径φ6・内径φ4 エアゲージ付
計測温度入力端子	2回路(対象基板温度計測用)
計測温度表示	7セグメントLED表示、3桁 表示選択はスイッチ切り換え
外形寸法・重量	133W×190H×258D(ゴム足・取手を含む。その他突起物含まず) 約2.5Kg
コテユニット	300W型 コテ先加熱面積が20～30角に対応 500W型 コテ先加熱面積が30～40角に対応
コテ先サイズ	BGA各サイズに対応
コテ交換方法	スプリング付パッチン錠により簡単化
押しボタン	ハンダ吸い取りシート負圧吸着
コテ先温度検出	K型熱電対
コテユニット外形寸法・重量	約45W×45D×230H・約700g(300W型)、約850g(500W型)
ケーブル/エアチューブ長さ	約650mm
ハンダ吸い取りシート	残留ハンダ吸い取り面積により決める

製品構成

1. 本体 SHC-770	1台
2. コテユニット	300W型、500W型のいずれか選択
3. コテ先	1個(20～30、30～40で選択可)
4. 電源ケーブル	1本
5. コテ置き台	1台(コテ先クリーニング用ケース入りスポンジ付)
6. コテケーブル支持棒	1本
7. コネクタ付テフロン被覆K型熱電対(φ0.2×L=500)	2本
8. コテ先サイズ対応ハンダ吸い取りシート(お試し用)	5枚

オプション

1. コテユニット	300W型、500W型のいずれか追加の場合
2. コテ先	20～40角各種
3. ハンダ吸い取りシート	各サイズ10枚ロット、50枚ロット、100枚ロット
4. コネクタ付K型熱電対	長さ指定可
5. 吸い取りシート負圧吸着用外付けポンプ(工場エアが使用出来ない場合)	

製造販売元

マイクロコム 株式会社
MICRO COM CO.,LTD.

〒183-0005 東京都府中市若松町2-37-2
TEL.042-369-7101 FAX.042-369-7104
<http://www.micro-com.co.jp/>
e-mail:mail@micro-com.co.jp

このカタログは、改良の為予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承下さい。

信頼の代理店

